

# (仮称)春日井市地域共生プラン2025 中間案

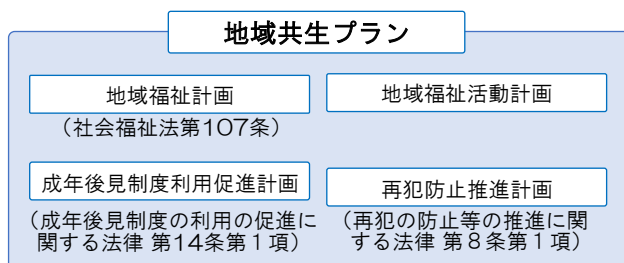
## 1 計画策定の趣旨と背景

少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化などを背景に、8050問題や社会的孤立などの複雑で複合的な地域生活課題が顕在化しています。地域共生社会の実現に向け、こうした社会環境を取り巻く変化や地域生活課題に対応し、多様な主体が参画する地域福祉の推進を図るため、令和6年度の計画期間の終了にあわせ「地域共生プラン2025」を策定します。

## 2 計画の位置付け

本計画は、「市町村地域福祉計画」として位置づけ、社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定するとともに、「成年後見制度利用促進計画」と「地方再犯防止推進計画」を包含します。

計画期間:2025(令和7)年度~2029(令和11)年度



## 3 計画の基本的な考え方

### 基本理念

出会い つながり 支え合い みんな輝く やさしいまちづくり

### 基本目標

1 支え、支えられる人と地域を育む

2 安心して生活できる環境を創る

3 包括的な支援の体制を整える

### 施策1 住民主体活動の取組みの強化

地域生活課題を解決するため、交流サロンや居場所づくりなど住民主体の活動が多く創設されていますが、活動を支える担い手が不足しています。

また、障がいのある人や子ども、ひきこもりなどの社会的孤立状態にある人などさまざまな人が参加できる住民主体活動が求められています。

#### 具体的な取組み

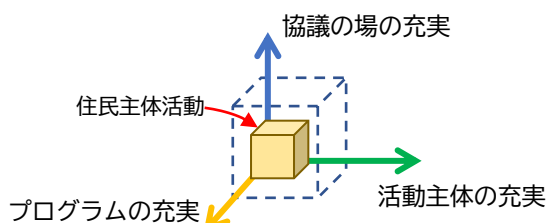
- ① 住民主体活動の拡大の促進  
→活動情報の発信、活動を普及する場の創出
- ② 多様な主体の参画促進  
→新たな担い手へのアプローチ、企業や学生との協働
- ③ 支援機関の地域づくりへの参画促進  
→支援機関と地域福祉コーディネーターの連携促進 等
- ④ 民民協働の推進  
→企業と活動のマッチング、活動への財政的支援 等

#### 進行管理の視点(抜粋)

- ・地域で行われている活動を他地区へ水平展開できるしくみが構築されているか。など

#### 施策1のイメージ図

プログラム、活動主体、協議の場の充実が住民主体活動の拡大を促進します。



### 施策2 地区社協・ボランティア活動の推進

市内45か所の地区社協は、それぞれ町内会と協力しながら住みやすいまちづくりを進めています。担い手不足となっています。

#### 具体的な取組み

- ① 地区社協の活動の支援  
→活動費の助成、運営に関する情報提供 等
- ② 誰もが参加しやすい地区社協活動の展開  
→障がいの有無や世代を問わず出会い交流できる場の創出
- ③ ボランティア活動の活性化  
→ボランティア活動の情報発信、参加者の掘り起こし 等

#### 進行管理の視点(抜粋)

- ・地域生活課題の解決に資する地区社協活動に向けた支援ができているか。など

### 施策3 地域の支え合いネットワークの推進

地域では、高齢者等に対する見守り活動や新聞販売店や宅配業者等が協働する地域見守りネットワーク等を進めています。

#### 具体的な取組み

- ① 民生委員・児童委員の活動支援  
→民生委員・児童委員協力員制度の推進
- ② 見守り活動の強化  
→地域見守りネットワークの推進、行方不明者の早期発見のしくみづくり
- ③ 地域の防災力の強化  
→自主防災組織の支援、個別避難計画の策定推進 等

#### 進行管理の視点(抜粋)

- ・民生委員・児童委員の活動支援が行われているか。など

#### 施策4 多様な社会参加の促進と居場所づくり

孤独・孤立などの社会的な交流のない人は、早期死亡リスクが高くなるといわれており、実際に孤独感を感じる人は4割程度います。

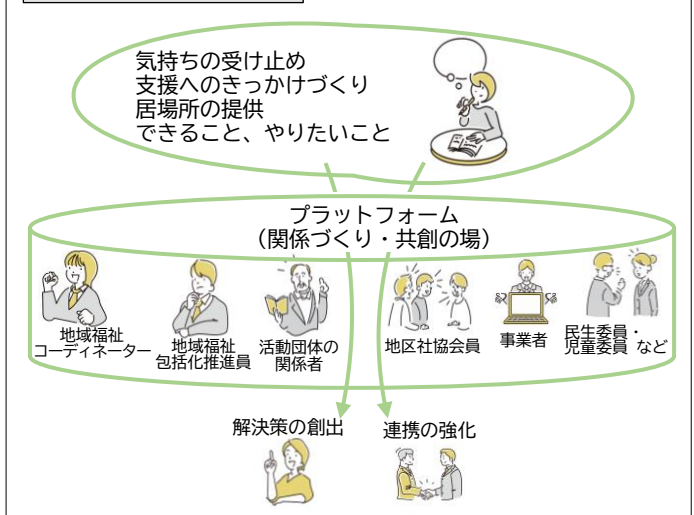
##### 具体的な取り組み

- ① 伴走支援の担い手づくりや発掘  
→伴走支援の担い手づくりや発掘
- ② つながりづくりプラットフォームの構築  
→住民や関係団体が参画するプラットフォーム（協議、検討する場）の構築
- ③ 新たな場の創出  
→社会参加できる場や機会、役割の創出
- ④ 多様な就労機会の確保  
→多様な就労準備の支援、中間的就労の場の提供

##### 進行管理の視点

- ・社会参加が難しい人に伴走する地域の支援者の育成が進められているか。など

##### プラットフォームのイメージ図



#### 施策5 当事者参加と相互理解の促進

認知症や障がいについて理解を進める取り組みは行われていますが、依然として差別や偏見があると感じている人が多くいます。

##### 具体的な取り組み

- ① 当事者の想いを発信する取り組みの推進  
→当事者同士の意見交換の機会創出、当事者の想いを発信する場の創出
- ② 福祉共育の推進  
→福祉体験学習の推進、青少年ボランティアスクール等の講座の開催

##### ③ 相互理解に向けた周知・啓発活動の推進

→認知症や障がいについての理解促進

##### 進行管理の視点

- ・当事者発信の場が継続的に運営できるしくみづくりがされているか。など

#### 施策6 包括的な相談支援体制の強化

各分野の相談支援体制は充実しています。保護司は、担い手不足や福祉的支援が必要な人に対する関わり方に課題を感じています。

##### 具体的な取り組み

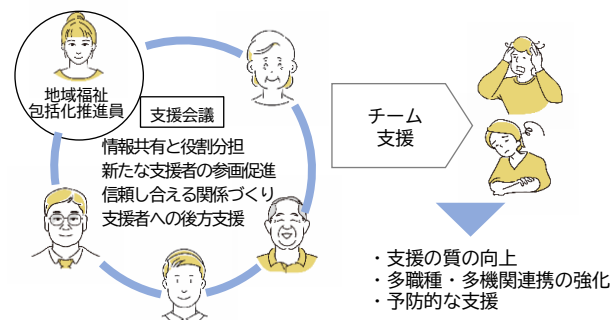
- ① 支援会議の推進  
→効果的な情報共有の推進、多職種・多機関連携の促進
- ② 多分野の相談支援機関の連携強化  
→地域支援研究会の実施、相談支援窓口の連携強化 等
- ③ 支援機関と地域福祉コーディネーターとの連携・協働  
→潜在的な生活課題を抱えている人へのアウトリーチ支援
- ④ 更生保護活動の支援  
→面談会場の確保、保護司の人員確保に向けた協力 等
- ⑤ 社会復帰に向けた多様な支援の確保  
→就労や日常生活の支援、住まい確保の支援

##### 進行管理の視点

- ・多様化・複雑化する課題に包括的に対応するための、多機関の円滑な連携が図られているか。など

##### 支援会議のイメージ図

支援会議：関係機関が個々の事案の情報共有や地域の支援体制の検討を円滑にするために開催する会議



#### 施策7 総合的な権利擁護支援の推進

成年後見制度の利用促進に向けて、高齢者・障がい者権利擁護センターの機能強化が求められています。

##### 具体的な取り組み

- ① 総合的な権利擁護支援  
→日常生活自立支援事業と終活サポート事業の充実 等
- ② 成年後見制度の運用改善  
→制度の理解促進、市民後見人の育成 等
- ③ 権利擁護支援の地域連携ネットワークの推進  
→権利擁護センターの機能強化、中核機関の普及啓発

##### 進行管理の視点

- ・身寄りのない人への支援や法人後見の確保についての検討が進められているか。など

#### 施策8 地域共生社会の実現に向けた福祉政策の総合的な推進

今後、本計画の進行管理や（仮称）総合福祉計画の策定に向けて、あらゆる主体や関係各課との一体的な協働が求められます。

##### 具体的な取り組み

- ① 福祉政策課と地域共生推進課、市社会福祉協議会の連携  
→三者会議の開催、地域支援研究会の協働運営
- ② （仮称）総合福祉計画策定に向けた準備  
→計画策定と進行管理体制の検討 等
- ③ 試行的なプロジェクト活動の推進  
→プロジェクト活動の推進
- ④ 市社会福祉協議会の基盤強化  
→総合相談と地域支援の体制強化

##### 問い合わせ先

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地  
春日井市 健康福祉部 福祉政策課  
企画担当 中山、山田  
電話 0568-85-6184 FAX 0568-84-8731

計画書のダウンロード等はここから

